

◆ 令和7年度特集展示①出品リスト ◆

篠山神社の創建 篠山神社所蔵歴史資料より

会期：令和7年4月26日（土）～7月14日（月）

有馬記念館2階資料展示室

明治4年(1871)の廃藩置県後、久留米城は陸軍省の管轄の下、廃城処分となり、民間に払い下げられ、同8年(1875)にはすべての建物が解体されました。

同 10 年(1877)、旧久留米藩主有馬家を偲ぶ有志の願書が官許され、同 12 年(1879)に久留米城本丸跡に社殿が完成しました。社号は町名から「篠山神社」と称し、社格は県社、祭神は当初、初代豊氏、10 代頼永を祀りました。その後、同 32 年(1899)に 11 代頼成、同 45 年(1912)に 7 代頼僮、昭和戦後に 14 代当主頼寧を合祀し、現在、5 柱を祭神とします。

本展では、篠山神社の創建を中心に、その歴史を示す古文書を公開します。



●国登録有形文化財(建造物)

篠山神社本殿・拝殿・中門・透塀

登録年月日:令和 4 年 10 月 31 日

時代:明治 12 年(1879)

*No.1～9は篠山神社蔵(有馬記念館寄託)

No.	資料名	年代	西暦	作者	形状	法量(cm)
1	御霊社建築必携	近代	—	—	縦帳	23.7×16.0
2	篠山神社創建書類 社殿建築・社格願・合祀願書	明治 10～32 年	1877 ～99	—	縦帳	23.0×15.0
3	篠山神社建設係役名并総代名簿	明治 33 年	1900	—	縦帳	24.6×16.0
4	日誌	明治 22 年	1889	篠山神社社務所	縦帳	27.0×19.5
5	日誌	大正 2・3 年	1913 ～4	篠山神社社務所	縦帳	26.8×19.5
6	日誌	大正 10 年	1921	縣社篠山神社社務所	縦帳	26.7×19.1
7	篠山神社宝物台帳	近代	—	(篠山神社)	縦帳	27.2×19.5
8	神社所蔵品台帳	大正 6 年	1917	縣社篠山神社社務所	縦帳	27.0×19.2
9	篠山神社文庫別函図書目録	昭和 4 年	1929	(篠山神社)	縦帳	27.0×19.4

篠山神社の社殿は明治 12 年(1879)の建立で、現在、国の登録有形文化財になっています。明治～昭和戦前の古写真から、社殿の屋根や境内の移り変わりをうかがうことができます。ぜひ、現在の姿と見比べてみてください。



【写真パネル1】 絵葉書「篠山神社神殿(久留米)」

明治時代～大正時代

本殿・中門の屋根がもとは檜皮葺きだったことが分かる。のちに銅板葺きとなる。



【写真パネル2】 絵葉書「篠山神社」

大正8年(1919)

拝殿の屋根は桧瓦葺き。昭和5年(1930)頃、銅板葺きとなる。



【写真パネル3】 写真「篠山神社の階段での記念写真」

大正時代

第1次世界大戦時、久留米俘虜収容所に収容されたドイツ兵捕虜たちの集合写真。現在、ここに右の写真の鳥居が建つ。



【写真パネル4】 絵葉書「県社篠山神社境内入口鳥居

額有栖川熾仁親王殿下御書」 昭和5年(1930)

明治 28 年(1895)建立の鳥居が、本丸の入口にあった冠木御門の位置に建つ。現在、社殿の前方に移されている。



【写真パネル5】 絵葉書「縣社篠山神社拝殿」

昭和5年(1930)以降

有馬家の家紋の1つである龍胆車紋が染め抜かれた幕は、昭和5年(1930)「鐘紡久留米支店婦人會」が寄進したもの。拝殿の屋根は銅板葺きになっている。

*写真パネル1～5の原本は、久留米市教育委員会蔵